



JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

決算説明会

— 2013年3月期第2四半期 —

2012年11月20日

株式会社JSP

本日の出席者

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

取締役社長 塚本 耕三

第一事業本部長 寺西 耕一

第二事業本部長 臼井 宏

経理財務本部長 山本 均

総務人事本部長 斉藤 吉成

経営企画本部長 近藤 正

1. 2013年3月期第2四半期決算概要
(以下、2012年度上期)
2. 2013年3月期決算見通し
(以下、2012年度通期見通し)

2012年度 上期決算概況

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	11年上期 実績	12年上期 公表	12年上期 実績	前年 同期比	公表比
売上高	45,971	48,000	48,167	105%	100%
営業利益	2,762	2,900	2,828	102%	98%
経常利益	2,801	2,900	2,941	105%	101%
四半期純利益	1,875	2,000	2,020	108%	101%

- 南欧諸国の債務問題が深刻化
- 中東情勢不安による原燃料価格の上昇
- 円の独歩高(為替レート前年同期比 1US\$ ¥81.78→¥79.78 1€ ¥115.99→¥103.74)
- 日本国内の家電・半導体産業の衰退
- 世界の自動車販売台数は大幅に増加
- 世界的なスマートフォン・タブレット端末の爆発的な普及

押出事業

2012年度上期

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度上期 実績	2012年度上期 実績	前年 同期比
売上高	17,133	17,177	100%
営業利益	1,320	1,138	86%

国内景気低迷による需要減をミラマットとミラフォームが補い売上維持

- 食品トレー、丼容器「スチレンペーパー」前年の震災仮需に比べ売上減少。
- 広告用・折材「ミラボード」家電量販店は低調、産業用向が好調で前年並み。
- 産業用包装材「ミラマット」永久帯電防止機能で底堅い需要により売上増加。
- 産業用包装材「キャプロン」景気低迷による需要縮小と競争激化で売上減少。
- 産業用通い函「Pボード」デジタル家電市場の低迷で売上減少。
- 住宅用断熱材「ミラフォーム」復興需要、高断熱住宅の需要増で売上増加。
- トラック緩衝材「ミラプランク」家電市場低迷による物流量減で売上減少。

ビーズ事業 2012年度上期

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度上期 実績	2012年度上期 実績	前年 同期比
売上高	25,948	28,115	108%
営業利益	1,636	1,901	116%

自動車生産台数V字回復、スマートフォン・タブレット端末関連包材の需要拡大

- 自動車衝撃緩衝材、家電製品緩衝材用途の「ピーブロック」(英名ARPRO)
日本:自動車部品V字回復、スマートフォン関連包材好調で売上増加。(121%)
米国:米国自動車販売台数はリーマンショック前に戻り売上増加。(125%)
工業用部品通い函、グラウンド基礎緩衝材、一般緩衝材も好調。
欧州:債務問題が深刻化したが大部位採用拡大で数量増、ユーロ安で売上減少。
アジア:スマートフォン関連包材の需要増、自動車部品堅調で売上増加。(109%)
- 魚箱、家電製品緩衝材、住宅用断熱材用途の「スチロダイア」
震災復興の遅れ、漁獲高の減少、建築・土木は堅調、全体として売上減少。

その他

2012年度上期

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度上期 実績	2012年度上期 実績	前年 同期比
売上高	2,890	2,874	99%
営業利益	△1	29	—

国内家電市場は低迷、中国はスマートフォン・タブレット端末関連包材が好調

- 国内一般包材
家電市場の低迷により販売は前年に引き続き低調。
- 中国一般包材
スマートフォン・タブレット端末関連包材の需要が増加。

2012年度 上期決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

連結経営成績

単位は百万円、(%)は対前期増減率

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
2012年度上期	48,167 (4.8%)	2,828 (2.4%)	2,941 (5.0%)	2,020 (7.7%)
2011年度上期	45,971 (0.5%)	2,762 (△27.3%)	2,801 (△25.7%)	1,875 (△33.0%)

包括利益 : 2012年度上期 2,238百万円(△16.0%) 2011年度上期 2,663百万円(100.3%)

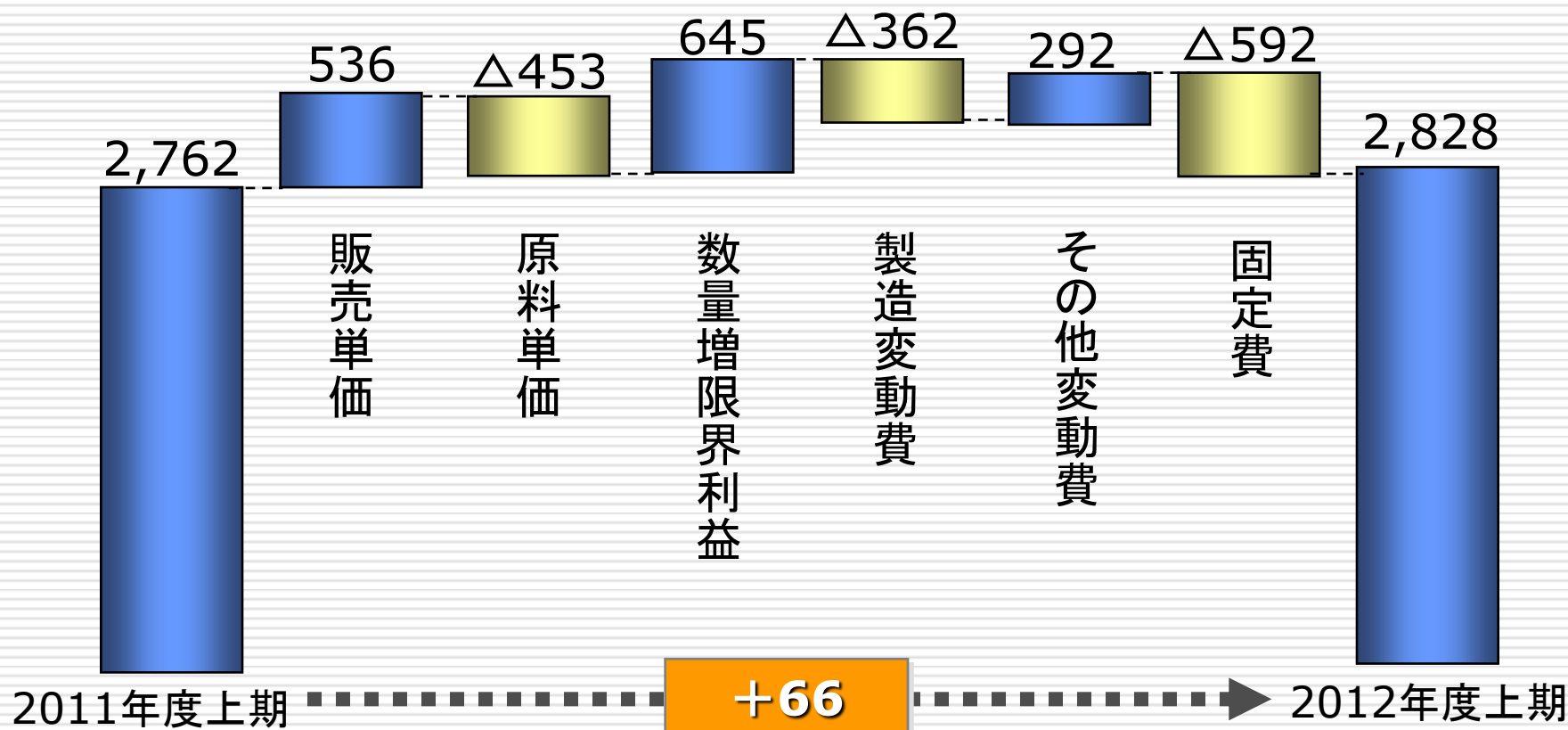
	1株当たり 四半期純利益	自己資本 四半期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2012年度上期	67円78銭	4.4%	3.2%	5.9%
2011年度上期	62円91銭	4.2%	3.1%	6.0%

2012年度 上期決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

営業利益の増減要因

(単位:百万円)



2012年度 上期決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

営業外損益		特別損益	
(単位:百万円)		(単位:百万円)	
科 目	2012年度上期	科 目	2012年度上期
受取利息	112	投資有価証券売却益	18
その他	318	その他	8
営業外収益合計	430	特別利益合計	26
支払利息	104	固定資産除却損	35
その他	213	課徴金引当金繰入額	27
営業外費用合計	317	その他	30
		特別損失合計	92

2012年度 上期決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

連結財政状態

(単位:百万円)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2012年度上期末	93,325	49,403	49.6%	1,552円80銭
2011年度末	89,072	47,362	50.2%	1,499円89銭

(参考)自己資本 2012年上期末46,297百万円 2011年度末44,721百万円

2012年度 上期決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

連結貸借対照表

(単位:百万円)

分類	科目	2011年度末	2012年度上期末	増減額
資産の部	流動資産	50,073	53,471	3,398
	固定資産	38,999	39,854	855
	資産合計	89,072	93,325	4,253
負債の部	流動負債	30,068	31,946	1,878
	固定負債	11,641	11,976	335
純資産の部	株主資本	52,843	54,416	1,573
	その他包括利益累計	△8,122	△8,118	4
	少数株主持分	2,641	3,105	464
	負債純資産合計	89,072	93,325	4,253

2012年度 上期決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

純資産の部

(単位:百万円)

科 目	2011年度末	2012年度上期末	増減額
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,405	13,405	—
利益剰余金	30,681	32,255	1,574
自己株式	△1,371	△1,372	△1
株主資本合計	52,843	54,416	1,573
その他有価証券評価差額金	148	21	△127
為替換算調整勘定	△8,270	△8,140	130
その他包括利益累計	△8,122	△8,118	△4
少数株主持分	2,641	3,105	464
純資産合計	47,362	49,403	2,041

2012年度 上期決算説明

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2012年度上期	3,353	△3,059	1,779	8,139
2011年度上期	1,596	△2,490	△3,056	6,603

連結設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2012年度上期	3,006	2,082	948
2011年度上期	2,052	2,263	866

(設備投資額はキャッシュベースであります。)

1. 2013年3月期第2四半期決算概要
(以下、2012年度上期)
2. 2013年3月期決算見通し
(以下、2012年度通期見通し)

2012年度 通期見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 通期見通し	前年 同期比
売上高	93,397	97,000	104%
営業利益	5,296	6,000	113%
経常利益	5,536	6,100	110%
当期純利益	3,100	4,000	129%

新中期経営計画「Deepen & Grow」の初年度数値目標の達成を目指す

- 為替レート
上期 ¥79.78/US\$ 下期 ¥80/US\$
上期 ¥103.74/€ 下期 ¥100/€
- 1株当たり配当金
中間配当金 15円
期末配当金 15円(予想) } 年間配当額 30円(予想)

押出事業

2012年度通期見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 通期見通し	前年 同期比
売上高	34,585	36,000	104%
営業利益	2,557	2,300	90%

高性能断熱材ミラフォーム・液晶パネル等の表面保護材ミラマットの拡販に注力

2012年度 重点施策

高性能断熱材「ミラフォーム」の拡販

スマートフォン・タブレット端末関連包材「ミラマット」の拡販

復興需要による土木用資材「ウォールブロック」の拡販

減益見通しの理由 ① ミラフォーム他素材との競争激化 ② 住宅エコポイントの終了
③ 国内需要減 ④ 原燃料価格の値上がり

高性能断熱材「ミラフォーム」の拡販

低炭素社会の実現に向けた
高断熱住宅・高断熱建築物の普及による
需要増加



「ミラフォーム Λ (ラムダ)」はJSPがこれまで
培ったプラスチック発泡技術を駆使して開
発した高性能・新次世代型断熱材です。



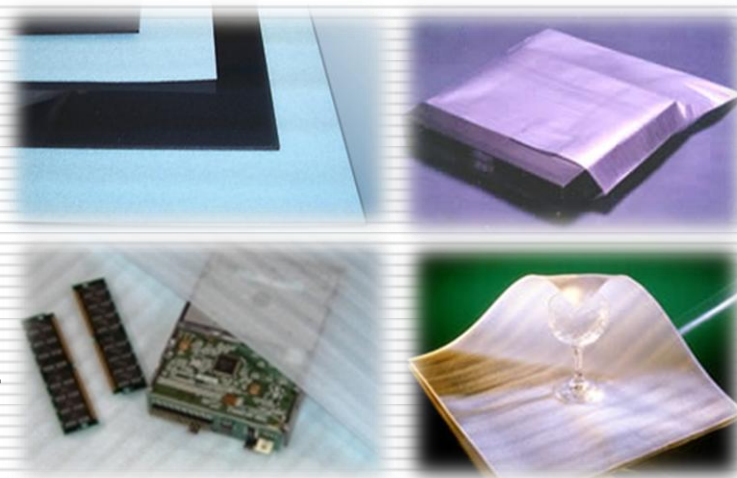
ミラフォーム
発泡ポリスチレンボード

スマートフォン・タブレット端末関連包材「ミラマット」の拡販

更なる薄肉化による
次世代ディスプレイ包装資材の拡販

独自技術による高付加価値製品

静電気防止、静電気散逸性機能
スマートフォン・タブレット端末関連包材
の需要増加



ミラマット
発泡ポリエチレンシート

復興需要による土木用資材「ウォールブロック」の拡販

国土交通省「NETIS」指定の
ウォールブロックの拡販
登録No. QS-040024-V

軽量モルタル壁面材が一体化している
ウォールブロックは、積み上げるだけで
壁面ができるため、工期短縮と工費削
減を可能にします。

※「NETIS」: 新技術情報提供システム



ウォールブロック
EPSブロックと壁面材の一体化製品

ビーズ事業 2012年度通期見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 通期見通し	前年 同期比
売上高	52,869	56,000	106%
営業利益	3,212	4,100	128%

ピーブロックの国内外販売増、スチロディアの収益改善で利益増加

2012年度 重点施策

ピーブロック グローバル体制の拡充

ピーブロック 自動車部品での新しい部位採用拡大

ピーブロック 自動車資材以外の用途拡大

スチロディア販売価格是正と建材・土木分野への拡販

ピーブロック グローバル体制の拡充

中国（東莞）生産能力増強



中国（東莞）2012年8月完成
生産能力(中国全体)
年間9,000 t → 14,000 t

ブラジル生産能力増強



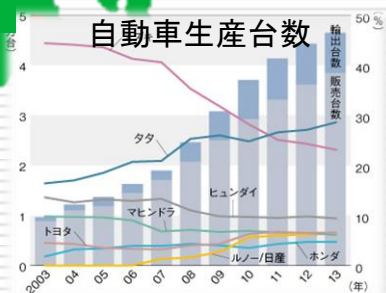
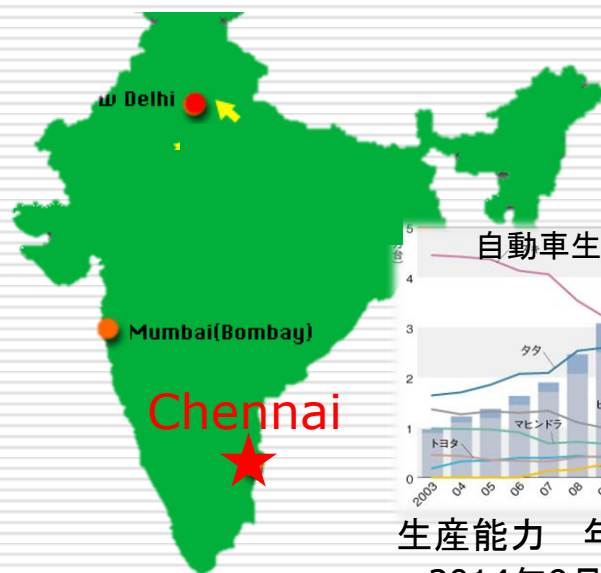
ブラジル新工場 2012年9月完成
生産能力(ブラジル全体)
年間1,500 t → 5,000 t

ビーズ事業 2012年度通期見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

ピーブロック グローバル体制の拡充

インド（チェンナイ）工場建設



台湾生産能力増強



生産能力 年間4,800 t
2013年7月完成予定

ビーズ事業 2012年度通期見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

ピーブロック グローバル体制の拡充

北九州工場建設

所在地：福岡県北九州市小倉南区

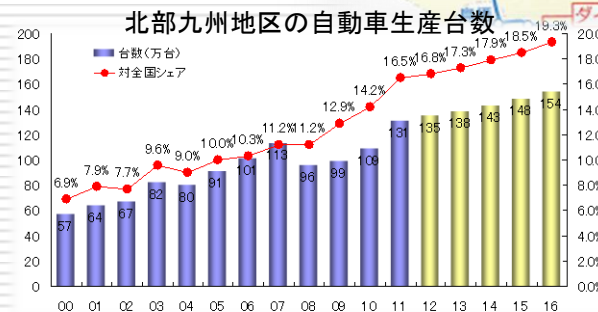
土地面積：約34,800㎡(約10,550坪)

建物面積：約3,900㎡(約1,180坪)

生産能力：年間約4,800トン

投資額：約2,050百万円

稼動予定日：2014年4月



出展：北九州市産業用地紹介MAP

出展：北部九州自動車150万台先進生産拠点推進構想

ピーブロック 自動車部品で新しい部位採用拡大

発泡ポリプロピレン



サンバイザー



積載物収納ボックス



電気自動車バッテリー
断熱緩衝材



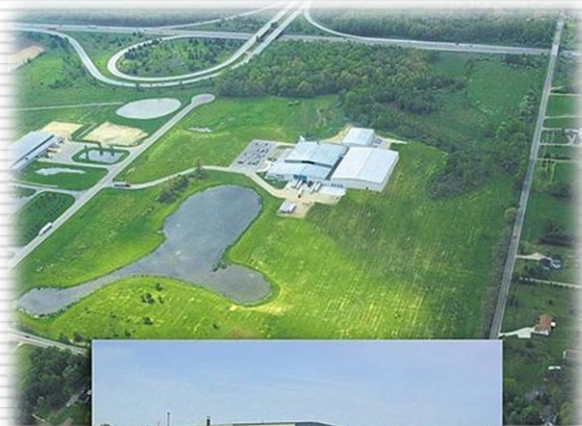
バンパーコア材



リアシートコア材

ピーブロック 自動車部品以外の用途拡大

発泡ポリプロピレン



米国ジャクソン成形工場
2011年8月購入



太陽光熱発電
断熱材



水浄化資材



家庭用
グラウンド基礎材



工業用部品通い函

スチロダイア販売価格是正と建材・土木分野への拡販

発泡性ポリスチレン



木造建築壁用EPS断熱材



軟弱地盤の沈下対策
(発泡スチロール土木工法)

株式会社JSP

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ Tel 03-6212-6306 IR室
